日本ボーイスカウト京都連盟

京都第３８団育成会

年　次　総　会

資　　料

2007

平成１９年１１月１８日

室町児童館２Ｆ

年次総会式次第

開　会　式　　司　　会

1．開会言葉
2．国旗儀礼　（全員起立）
3．連盟歌
4．育成会長ご挨拶
5．閉会の言葉

『会　　議』

1．団委員長挨拶
2．議長・副議長の選出
3．議長挨拶
4．記録係の任命

『議　　案』

（1）平成１９年度　各隊活動報告、団行事報告。
（2）平成１９年度　収支決算報告。
（3）平成１９年度　各隊指導者及び団委員の解任。
（4）平成２０年度　顧問・相談役・育成会長・会計監査の選任。
（5）平成２０年度　団委員並びに役務分担承認。委嘱状の伝達。
（6）平成２０年度　各隊指導者の選任報告。　　委嘱状の伝達。
（7）平成２０年度　各隊活動計画について
（8）平成２０年度　収支予算について
（9）その他　スカウト減少対策。創団５０周年記念の準備について。等

閉会式

2009.8/8－9. 立河原

各隊情報誌の発行

1．開式の言葉
2．団顧問のご挨拶
3．光の道
4　国旗儀礼
5．閉式の言葉

ご　挨　拶

三　指

京都第３８団育成会各位にをかれましては、常日頃より団運営に対して多大なご尽力とご奉仕を頂き誠にありがとうございます。

今年度も１１月１１日の上進式と、１１月１８日地区ベンチャー大会（伊吹パラグライダー）で最終行事なります。

各隊の活動が無事に終える事が出来た事はことは、各隊指導者・団委員各位のご尽力の賜ものと心より感謝申し上げます。

今年度は世界スカウト創始100周年に当たり、連盟・地区では多彩な行事（ボーイラリー・ベンチャー大会）が執り行なわれましたが、当団スカウトの参加が少ないことが残念だなりません。

前年度の課題として新入スカイト募集について、いろいろ取組を展開してまりました。近辺の各小学校にお願いして『スカウト活動・入隊説明会案内』等のチラシ配布やみやこ子ども土曜塾（市教育委員会）９月号・１０月号に『ボーイスカウトの野外活動』の体験してもらう事と交流を目的とした案内を掲載して頂きました。

入隊説明会の出席者は無かったが、静原キャンプ場で２回の『スカウト体験交流』には２７名（内子供１８名）参加を得て盛大に行ったのですが、現在入隊希望者は無いのが現状です。

今　京都連盟ではスカウト減少に対して各団委員長に再々の研修会を実施、団の教育と経営（運営）にやる気と責任を持てと叱咤激励を受けております。

そこで、次年度は次の４項目を最重要課題とした取組を行っていく。

１）各隊指導者にローバー・ベンチャーのスカウトに委ねる。
　　（各隊指導者の若返りを図りスカウトとの接点を強める）

２）スカウト教育（プログラム）の原点に戻る。

３）新入スカウト募集は、行動力で集める。

４）中途退団抑止。

京都３８団育成会各位の一層のご支援とご理解をお願い申し上げます。

弥　栄

平成１９年１１月１８日

団委員長　　下　坂　紀　一

今期の活動を終えて

CS 隊隊長　三谷　一貴

今期は反省するべき点が多々あり、２年目の隊長を終えたのですが「あの時こうできたら」というような後悔などが思い起こされてしまう年となりました。

自分の中で「こうしては」「ああしては」と思い浮かんだこともなかなか実行に移すことが出来ず、集会なども例年通りの無難なプログラムとなりスカウティングとは離れた、ただのお遊び会のようになった部分もあったと反省しています。

そういった原因の一つとして自分自身で仕事を抱えすぎていたことが大きかったと思います。地区ラウンドテーブル・カブラリー実行委員長・原隊の集会についてと全てに自分自身が手を出し、またそれを他のリーダーに振ることが出来ずにいたため全てのものに自分自身が参加しないと物事が進まない状態で活動中も自分自身が動き回りうまく指示が出せず、その場しのぎのようになりお手伝いいただいていた方々にも影響を及ぼしてしまい、現在の本部体制について改善していかなければということを多大に感じる結果となりました。

こういった中でも今期の集会でカブラリーとボーイ隊との合同集会はスカウトたちに多大な影響が与えられよかったと思います。

カブラリーで団結力やチャレンジ精神が刺激され、合同集会では年の近いお兄さんたちと活動できたというものがプラスとなったようで、合同集会は都合により内容が思い描いていたものとは変わりましたが成功でした。

今回個人の都合で隊長は辞任させていただくことになりましたがこれらの思いを抱えてというのが非常に残念です。今後も団には残りますので出来うる限りそういった思いを晴らしたいと思います。

最後になりましたが私に付いて来てくれたスカウト達、父兄の皆様、団役員、各リーダーの皆様には大変お世話になりありがとうございました。

平成20年度カブスカウト隊年間プログラム

月	種別	テーマ	内容	実施場所	実施予定日
10月	隊集会	国旗と規律	規律訓練	御所	11月11日
11月	隊集会	右・左確認良ーし	交通安全	大宮交通公園	12月2日
	早起き隊集会	清く・正しく・美しく	清掃活動	京都学区	12月23日
	新年の集い	―	団行事	上御霊神社	1月1日
12月	隊集会	蛸揚げ？(笑)	工作	未定	1月14日
1月	隊集会	クールランニング	雪中ハイキング（合同隊集会）1泊2日	北山方面	2月3日
2月	隊集会	星との遭遇	天体観測	青少年科学センター	3月2日
3月	春季キャンプ	未知へのチャレンジ	キャンプ	山科の家	4月5日～6日
4月	隊集会	微菌嗅？	野外料理	堂谷キャンプ場	5月11日
5月	地区大会	カブラリーのテーマ	カブラリー	宝ケ池（予定）	6月1日
6月	隊集会	夜の風涼しく♪	夜間ハイキング 1泊2日	大文字山	7月5日
7月	夏季キャンプ	脱白小僧	キャンプ	未定	8月8日～10日
8月	隊集会	目指せ筋肉小僧！	体力作り	未定	9月2日
9月	隊集会	リクエスト大会	未定	未定	10月5日
	上進式	―	団行事	未定	11月初旬

本部体制		
隊長	出口 浩平	統括
副長	三谷 一貴	進歩/企画
副長	南 忠次郎	DL/野行
副長	佐々木 孝三	財政
副長	島村 靖弘	企画
INST	加藤 豊	記録
INST	岸本 敏弘	運搬

自身の環境の変化に戸惑った一年間

ボーイスカウト隊 隊長
末吉 玄希

昨年秋にボーイスカウト隊隊長という大役を急遽仰せつかってから一年が経ちました。今まで長い間務めてきた副長とは似て非なるものというのが実感で、隊運営に苦悩した日があったのも事実です。というのも、私自身も４月に就職をし、今までずっと過ごしてきた学生とは全く異なる環境に身を置いたため、準備にかけられる時間が大幅に減ってしまったことが、私自身の負担を増大させたのでしょう。しかし、だからと言って、ボーイスカウト活動の主役であるスカウトたちに魅力あるプログラムを提供しない、というのは言い訳にはなりません。その点で、この一年間の隊長としての私は、その職責を全うしていたとは言い難く、スカウトやその保護者の方々に色々ご迷惑をかけてしまいました。再びこのような事態を繰り返さないためにも、この一年間の活動内容を顧みて、改善すべき点を多く見つけ、その成果をスカウトに還元するつもりです。

さて、隊長をやっていて感じたことの一つに、スカウトの参加率の低迷があります。それは「ボーイスカウト活動をしたい！」と思えるような活動を提供してこなかったこちらにも責任があると思いますが、それ以上に現在の小・中学生を取り巻く環境が繁忙化している気がします。それは、学習塾の業界に就職した私だけに、余計に感じます。スカウト本人が忙しくしているのではなく、スカウトの周辺環境が忙しくしているのだと思います。ということは、スカウトの周辺環境をこちらに呼び込めば、参加率は上がると言うことです。周辺環境とは保護者の方々だけに限らないと思います。もっとこちらから動きをスカウトにかける必要性があります。広報紙「さんぱち」もその一つでしょう。そのためには私一人の力では限界があります。副長はじめ、団が一つになって協力すれば、１＋１のものが３にも４にも10にもなるはずです。「魅力のある隊運営を」。これが私の来年度の目標です。

最後になりましたが、この一年間、隊活動に協力して下さった保護者の皆様、団委員、各リーダーには感謝申し上げます。来年度は今年度以上に精一杯スカウト活動に取り組んでいく所存です。今後とも御指導の程、宜しくお願い致します。ありがとうございました。

平成20年度　ボーイスカウト隊　年間プログラム

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
テーマ	これからの仲間	班集会って？	遭難者だ！ 急げ！	社会の中の一員	自分で作るウマい飯	人間の原点を探そう
内　容	規律訓練 基礎技能修得	リーダーシップ マネジメント	雪中ハイク 救　急	近隣奉仕 環境保護	野外料理	春季キャンプ
活動分野	Aスカウト精神	Aスカウト精神 B健康と発達	B健康と発達	G社会生活	Eキャンピング	A～G 技能全般
実施予定日	11／25(日) 一日プロ	12／29(土) 夜間プロ	1／27(土) 一日プロ	2／24(日) 午前プロ	3／30(日) 一日プロ	4／12(土)～ 4／13(日)
実施場所	未定	寺之内幼稚園	未定	知恩寺	未定	静原キャンプ場
保護者会						
行事等			1日： 新年の集い 13日： 女子駅伝奉仕	24日： 車いす駅伝奉仕		

※隊集会の実施日時は定期試験等の関係で変更することがあります。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
テーマ	自然を肌で感じる	ロープの素晴らしさ	キャンプは目の前	一年間の集大成	新たな自分に挑戦	最後は笑顔で！
内　容	気象観測 天体観測	キャンプ準備 ﾊﾟｲｵﾆｱﾘﾝｸﾞ ロープ結び	キャンプ準備 備品点検 ｷｬﾝﾌﾟﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	夏季キャンプ	未定	お別れ隊集会
活動分野	Cハイキング D追　跡	Eキャンピング F冒　険	Eキャンピング	A～G 技能全般	F冒　険	Aスカウト精神
実施予定日	5／27(日) 早朝プロ	6／29(日) 一日プロ	7／27(日) 午後プロ	8／10(日)～ 8／13(水)	9／28(日) 未定	10／26(日) 午前プロ
実施場所	未定	寺之内幼稚園	寺之内幼稚園	未定	未定	未定
保護者会						
行事等						

本部体制

隊長　末吉 玄希　（総括）
副長　河合　豊　（会計）
副長　河合 敏晃　（隊補佐）
副長　八木 克彦　（記録）
副長　月里　力　（備品）
副長　島村 悠吾　（野行）
上級班長　畑　伸暁

「 60 ： 16 」

（ベンチャー隊この１年を振り返って）

京都 38 団ベンチャー隊　隊長　末　吉　央　伯

VS 隊長は今年の６月で還暦を迎えました。とうとう６０であります。かねがね引用に使っています「６０歳で若者もいれば、１６歳で年寄もいる」その６０になってしまいました。６０の若者でありたいと願っていますが、やはり体力的には残念ながら衰えを感じざるを得ません。しかしこの１０年ほどを振り返ってみると、ベンチャースカウトたちのおかげで、いろいろと現代の若者たちが楽しんでいるプログラムを体験する機会に恵まれて、一応体力的にも一緒に参加できたことを喜んでいます。45 年前の時代には、蔭かたちさえなかったものや、あったとしても到底出来なかった活動ばかりでした。米国研修旅行をはじめとして、パラグライダーしかり、ラフティングしかり‥‥です。でも、自分の高校時代が貧弱で寂しいものであったとは決して思っていません。それなりに冒険や、過酷なハイキングなど、結構それなりに楽しく活動していましたね。

さて 2006 年度は新入隊員がなく、寂しい年でしたが、４名もの上進者を迎えた 2007 年は、４月に VS 隊からの新入隊員を加え５名の新人。さぞかし活気づくだろうと期待をしましたけれど、いまだ期待にはほど遠い状態です。

11 月３日に、また名古屋７５団 VS 隊員２名が VS 隊長宅にて宿泊し、京都研修をしましたが、なんと２名とも上進したばかりの中学３年生で、それも女性でした。引率の隊長さんの話によれば、２０人以上いる隊員の内、受験生をのぞく約半数のなかで、活動的なスカウトがいないと嘆いておられましたね。夏にラフティングに隊から半額補助をするからと言っても参加者が出てこない。とは、どこかで聞いた話。我が３８団でも、北星地区 VS 大会のパラグライダーに同じく半額補助をするからと言っても参加者が２名だけ。近頃の高校生はどこも同じなのかと思いたくなってしまいました。我が団の参加しないスカウトに理由を聞いて、『5500 円も出すぐらいなら、それで美味しいものを食べた方がよい』のだそうです。これは各自の価値観だからそれでいいのですが、ここに 16 歳の老人をみてしまって、悲しくなってしまう隊長です。昨年のこの紙面の表題に「能動的なプログラム活動を期待する」を冠しましたが、来年も同様となりそうです。

というわけではないのですが、ますます 60 歳の若者になろうと、元気が出てきました。ボーイスカウト運動が 100 年を迎えた記念すべき年に、還暦を迎えたのも何かのご縁です。この運動によって、今の自分があるといいと言っても過言ではないので、まだまだこの運動に力を注ぎたい思いでいっぱいです。でも迷惑にならないようにも注意しておきましょう。若年寄の諸君。君たちが 60 歳になったとき、何をしてるのでしょうね。それを見ることは出来ないのが残念ですな。ぴ。

組織拡張委員会報告

1）19.1.14　平成19年度　スカウト登録説明会　京都テルサ

2）19.2.25　平成19年度　スカウト登録審査　室町児童館

3）19.3. 4　平成19年度　日本連盟スカウト登録申請

登録申請内訳

	スカウト	指導者数		合　計
団　委　員		16		16
カ　ブ　隊	4	8		12
ボーイ　隊	11	6		17
ベンチャー隊	13	3		16
ローバー隊	17	1		18
合　　計	45	34		79

4）19.3　３８団名簿作成・配布

5）19.5.　新入隊募集パンフレット作成・配布

6）19.6.2　追加登録　３名　カブスカウト　南野　優希
カブ隊副長　出口　浩平
ベンチャースカウト山本　一貴

7）19.6.17　新入隊説明会　出席者なし　室町児童館

8）19.7.　土曜塾にスカウト募集の申込手続き
8.　土曜塾にスカウト募集の申込手続き

平成１９年１１月１８日

組織拡張委員　小野　佳代子

進歩委員会報告

進　級　者

年　月　日	進　級　章	氏　　名	面接　場所
	なし		

平成１９年１１月１８日

３８団進歩委員　佐竹　真紀

指導者養成委員会報告

平成１９年度
ボーイスカウト　ウッドバッヂ（ボーイ課程）研修所受講者

末吉　玄希（ＢＳ隊長）	ウッドバッヂ（ボーイ課程）研修所 奈良　第３１期 平成１９年５月３日～５月６日
八木　克彦（ＢＳ副長）	
月里　　力（ＢＳ副長）	奈良県立青少年野外活動第２センター 所　長　　森本　八郎

平成１９年１１月１８日

３８団指導者養成委員
川　井　周　美

健康安全委員会報告

1．　スカウトの傷害保険加入について
加入保険種類：ボーイスカウト日本連盟傷害共済制度
補償内容　　：災害死亡補償　20,000,000
疾病死亡補償　300,000
後遺障害保証(障害に応じて) 30,000,000～900,000
入院補償　4,000
通院・往診補償　2,000

平成 18 年度追加加入
18.12.29　仮入隊者３名分　¥200×3=¥600
19.03.18　仮入隊者１名分　¥200×1=¥200
平成 19 年度継続加入
19.03.26　加入人数 84 名
（スカウト 45 名　仮入隊者 3 名　指導者 18 名
団委員 16 名　親族２名）
¥500×84=¥42,000
平成 19 年度追加加入
19.06.29　指導者１名分　¥400×1=¥400
19.09.13　仮入隊者 8 名分　¥300×8=¥2,000
19.10.12　仮入隊者 10 名分　¥300×10=¥3,000

2．事故報告　　なし

3．事故が発生した場合
事故発生の日時・場所・負傷者の住所・氏名・年齢・事故状況等。事故発生日を含め、30 日以内に通知する必要があります。
活動中事故が発生した場合、速やかにリーダーを通じて健安まで報告して下さい。

平成 19 年 11 月　　健康安全委員　奥田芳子

団　財　政　明　細

平成１９年９月３０日現在

摘　　要	金　　額	摘　　要	金　　額
普通預金	103,614	団積立準備金	2,200,000
定期預金	2,887,001	団備品購入引当金	300,000
現　　金	66,371	緑化募金還付積立金	136,705
		繰越金	420,281
計	3,056,986	計	3,056,986

積　立　金　等　明　細

平成１９年９月３０日現在

摘　　要	前年度繰越金	本年度積立金	支　出	次年度繰越金
団積立準備金	2,200,000	0	0	2,200,000
団備品購入引当金	300,000	0	0	300,000
緑化募金還付積立金	83,859	52,846	0	136,705
道標修理費預り金	52,846	0	52,846	0
計	2,636,705	52,846	52,846	2,636,705

上記の通り報告致します。

団会計　丹羽　武

財政担当報告

育成会費及び年間行事費の納入は毎月５日に
京都銀行出町支店にて自動引き落としになっております。
前日までに各自の残高をお確かめの上、ご入金頂きますよう
今後共ご協力お願い申し上げます。

育成会費及び年間行事費

	ＣＳ隊	ＢＳ隊	ＶＳ隊
育成会費(1ヶ月分)	１，５００円	１，５００円	１，５００円
年間行事費(1ヶ月分)	２，０００円	２，０００円	１，５００円
合　　計	３，５００円	３，５００円	３，０００円

＊同一保護者で二名以上のスカウトが在籍する場合、
二人目以上は育成会費を５００円控除した金額を
納めて頂きます。

財政担当
丹羽　武

平成１９年度第３８団育成会会計報告

自平成１８年１０月１日～至平成１９年９月３０日　（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
団積立準備金	2,200,000	登録費	353,700
団備品購入引当金	300,000	保険料	44,190
緑化募金還付積立金	83,859	活動援助費	116,481
道標修理費預り金	52,846	団行事費	24,559
育成会費	403,000	研修補助費	29,160
各隊年間行事費	539,500	各隊年間行事費	536,162
（ＣＳ隊）	(118,000)	（ＣＳ隊）	(209,648)
（ＢＳ隊）	(240,000)	（ＢＳ隊）	(237,643)
（ＶＳ隊）	(181,500)	（ＶＳ隊）	(88,871)
維持会費	193,000	印刷費	11,424
雑収入	135,000	会議費	28,000
預金利息	7,807	交際費	27,980
前年度繰越金	364,278	団事務費	50,648
		団積立準備金	2.200,000
		団備品購入引当金	300,000
		緑化募金還付積立金	136,705
		次年度繰越金	420,281
計	4,279,290	計	4,279,290

上記の通り相違ないことを報告致します。　平成１９年１０月３０日

団会計　丹羽　武

平成１９年度の会計を監査した結果、帳簿、証拠書類共に
相違ないことを確認しました。

平成２０年度　各隊指導者名簿

	隊長	副長
カブ隊	出口浩平	三谷一貴 島村靖弘 ＤＬ　下司　（前期） 大谷　（後期） （南　忠治郎） （加藤　豊）
ボーイ隊	末吉玄希	河合敏晃 八木克彦 月里　力 川井弘三 岡本健司 末吉敦周 （河合　豊）
ベンチャー（ＶＳ）隊	末吉央伯	今井喜明
ローバー隊	榎本信也	チーフ　河合敏晃

平成２０年度団委員会名簿

団顧問		中川恵造
相談役		中村三之助
育成会長		西村泰一
団委員長		下坂紀一
副団委員長	（団会計）	丹羽武
副団委員長	（地区）	和田喜與太
副団委員長	（ＢＳ野行兼務・地区）	河合豊
副団委員長	（野行）	入矢徹雄
団委員	（組織拡張委員）	小野佳代子
団委員	（組織拡張委員）	廣瀬由美
団委員	（進歩委員）	佐竹真紀
団委員	（指導者養成委員）	川井周美
団委員	（健康安全委員）	奥田芳子
団委員	（野営行事委員）ＣＳ	沢井知美
団委員	（野営行事委員）ＢＳ	細木裕子
団委員	（野営行事委員）ＢＳ	高田文代
団委員	（野営行事委員）ＢＳ	河合豊
団委員	（野営行事委員）ＶＳ	谷口好美
会計監査	（団顧問兼）	中川恵造

平成20年度第38団育成会会計予算書（案）

自平成１９年１０月１日～至平成２０年９月３０日

（単位：円）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
育成会費	420,000	登録費	350,000
		保険料	50,000
		団行事費	80,000
維持会費	170,000	団備品費	40,000
		研修補助費	30,000
		活動援助費	130,000
各隊年間行事費	540,000		
内（CS隊 6名）	(140,000)	各隊年間行事費	580,000
（BS隊 8名）	(190,000)	内（ＣＳ隊）	(140,000)
訳（VS隊12名）	(210,000)	（ＢＳ隊）	(190,000)
		（ＶＳ隊）	(210,000)
		訳（ＲＳ隊）	(40,000)
		慶弔費	20,000
		交際費	40,000
		会議費	40,000
		印刷費	30,000
		団事務費	60,000
前年度繰越金	420,281	予備費	100,281
計	1,550,281	計	1550,281

＊予算の各項目間の流用を認める。

尚、団事務費の中に銀行口座引落手数料が含まれています。

団会計　丹羽　武